令和４年５月２日

【全体の講評（総括）】

中小企業診断士　荒木慎吾

事業評価委員会の各委員の評価とコメントを拝読させて頂き、全体の講評（総括）をさせて頂きます。まず、「Ⅰ.経営発達支援事業の内容」については、殆どの項目で各委員が高く評価しており、当初の計画に沿った実績が確認できます。事業計画の作成支援において、中小企業診断士などの専門家に依頼する場合も、事業計画書の中でどの部分を依頼するかについての依頼内容が明確化されており、「スムーズな専門家派遣」「高い採択率」に繋がっていると感じております。

また、令和２年度の講評では、「コロナ禍での代替手段の検討」を指摘させて頂きましたが、令和３年度では、コロナ禍で展示会が中止になった際に、「共同記者発表事業」を自前で開催されており、こういった代替手段の取組みは他の商工会の模範となる取組みです。是非とも、他の商工会に開催方法や当日の運営方法等の情報を共有して頂きたいと思います。

次に、「Ⅱ．地域経済の活性化に資する取り組み」についても、各委員が高い評価をしており、こちらも夏まつりや産業祭の中止に伴う代替手段（ショップガイドの制作・配布）を実施されている点は、非常に素晴らしい取組みでした。他の商工会の事業評価委員会に出席した際には、「特産品の開発とその販路開拓」に苦慮されている商工会が散見される為、是非とも他の商工会と情報共有を進めて頂きたいと思います。

また、「Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み」についても、ほぼ全て項目で各委員が高く評価していますので、次年度もこの取り組みを継続して頂きたいと思います。特に、よろず支援拠点を上手く活用された創業セミナーは、参加者のニーズやレベル感にも充分に合致しており、受講者の満足度が高いと拝察しております。私が他の商工会で創業セミナーを担当する際にも、参考にさせて頂きたい内容でした。

最後に、福崎町商工会は毎月の支援会議で経営支援の役割分担を進められており、各職員が事業計画の作成支援を行う際の負担が、極力公平になるように上手く配分されています。他の商工会では、事業計画の作成支援は一部の職員だけが実施している商工会もまだ多い為、職員全体のレベルアップの為にも、福崎町商工会の取組みが兵庫県内に広がっていくことを祈念しております。

以上

令和３年度　　経営発達支援事業

事業評価報告書

福崎町商工会

事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年１回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的な PDCA サイクルを構築する。

事業評価委員会

区分	所　　属	役　　職	氏　　名
委　員	中小企業診断士		荒木　慎吾
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	久保　幸一
	中小企業大学校関西校	校長	佐藤　浩史
	福崎町地域振興課	課長	成田　邦造
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター所長	辰巳　博計
	福崎町商工会	会長	谷口　守男
		副会長	大井　克哉
		副会長	小幡　八郎
事務局	福崎町商工会	事務局長	木村　真一
		事務局次長　兼 経営支援課長	小林　賢一
		経営支援課主幹	安本　直美
		総務課係長	大道　裕子
		経営支援課主任	中川　竜矢
		経営支援課主事	船田　和夫

（評価方法）

①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。

②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。

③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

【評価の目安】
A：達成率 90～100%　B：達成率 70～89%　C：達成率 40～69%
D：達成率　1～ 39%　E：達成率　0%

（改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

（事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

（公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

Ⅰ.経営発達支援事業の内容

1．地域の経済動向調査に関すること【指針③】(計画書 4～5P)

【取組んだ内容】

中小企業景況調査（地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの）を異なる業種で 7 事業所を対象に四半期ごとに実施し、分析を行った他、兵庫県・経済雇用情調査や地域金融機関からの景況調査を取りまとめ、経済動向調査レポートとして商工会のホームページに 4 回掲載した。

また、全国連より取り纏められた調査結果を福崎町商工会ホームページ上にて 11 回掲載した。

【外部リンク】景気動向・各種統計 – 商工会ホームページ

【令和 3 年度の目標及び実績】

項　　目	単位	目標	実績
現在行っている調査の取りまとめと分析	回	4	4
兵庫県・経済雇用情勢調査活用	回	4	4
地域金融機関・景況調査活用	回	4	4
上述の調査を福崎町商工会が取りまとめ HP 及び会報において公表する回数	回	4	4

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標通りに達成されており、充分な実績が認められる。（荒木）
A	目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。 今後は、地域経済動向の分析、提供だけでなく、個別事業者の良好取組事例等についても収集、還元し、地域の小規模事業者の経営改善につなげていただきたい。（久保）
A	目標を達成しており、評価できる。今後とも小規模事業者も活用できる情報提供に努めることを期待したい。（佐藤）
A	コロナによる経営状況、景気動向を把握するため参考にさせて頂きました。（成田）
B	計画どおり調査を実施している。取組んだ内容がホームページ公開で留まっているが、そこから実際にどのようにして個者支援に有効活用してもらえたかがわかる記載がほしい。（辰巳）

2．経営状況の分析に関すること【指針①】(5～6P)

【取組んだ内容】

①事業計画策定セミナーの開催

・名　称：経営革新計画認定のための経営分析・事業計画策定セミナー

・日　時：令和 3 年 8 月 18 日（水）、8 月 25 日（水）
　　9 月 1 日（水）、9 月 8 日（水）
　　各回とも 18:00～20:30

・場　所：福崎町商工会館 2 階多目的ホール

・講　師：中小企業診断士　黒野 秀樹 氏
経営革新計画認定事業所の事業計画を事例に、経営分析の手法について講義を行った。
【外部リンク】募集チラシ.pdf

セミナーに加えて経営課題を抽出し、課題解決のためのアクションプランを明確にして事業展開ができるように計画策定を支援した。特に経営計画の策定に積極的な小規模事業者を対象に巡回・窓口相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら事業計画の策定支援を行った。事業計画を策定することにより、小規模事業者は経営目標が明確になり、商品・サービスを効果的に展開することができる。
具体的には小規模事業者持続化補助金申請支援時に 16 件、ものづくり補助金申請支援時に 3 件、事業再構築補助金支援時に 14 件、中小企業新事業展開応援事業支援時に 3 件、起業家支援助成金支援時に 6 件、経営革新計画支援時に 4 件、先端設備等導入計画支援時に 2 件、事業継続計画（BCP）支援時に 2 件、事業継続力強化計画支援時に 5 件、創業セミナー開催時に 13 件、合計 65 件の経営分析を行った。

【令和 3 年度の目標及び実績】

支援内容	目標	実績
経営分析セミナーの開催	開催数 1 回 参加者 15 名	開催数 1 回 参加者 9 名
経営分析件数	30 件	65 件

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	セミナー参加者は目標をやや下回ったが、経営分析件数では目標以上の充分な実績が認められる。（荒木）
A	経営分析セミナーへの参加者数を除き、目標を上回る実績であり、新型コロナ禍においてもしっかり取り組んでいる。 経営状況の分析、それに伴う支援策への取組みでは大きな役割を果たしている。今後も地域の事業者との接点を大切にし、取り組みを継続していただきたい。（久保）
A	目標を概ね達成しており、評価できる。（佐藤）
B	コロナで打撃を受けた事業者の経営分析ができている。集計結果を参考にさせていただいた。（成田）
A	目標を大幅に上回る分析数は高く評価する。補助金申請のための分析で終わらず、事業者の活動の参考となるよう、分析結果を適切にフィードバックしてあげてください。（辰巳）

３．事業計画策定支援に関すること【指針②】（計画書 6～7P）

【取組んだ内容】
①事業計画策定セミナーの開催
開催要項は『２．経営状況の分析に関すること』に記載の『経営革新計画認定のための経営分析・事業計画策定セミナー』に同じ

経営革新計画認定事業所の事業計画を事例に、新規性や独自性、売上・利益増幅のための売上単価、数量の設定等、自社（自身）の経営・事業スタイルを見直し、競争力を高めるために事業計画を作成する必要性について講義を行った。セミナー開催時においては、事業計画策定における基礎計画の策定も自主課題として行った。また、その後に職員によるフォローや個別相談等において経営革新計画認定のための作成支援を行っている。

②事業承継セミナーの開催

・名　称：事業を支える女性のための終活セミナー
・日　時：令和３年８月 27 日（金）14:00～16:00
　　令和３年９月 10 日（金）14:00～16:00
・場　所：福崎町商工会館２階多目的ホール
・対　象：経営者の妻、後継者の妻、女性経営者、女性従業員等
　　事業を支える女性
・講　師：税理士　若槻 とも子 氏
・参加者：どちらかにでも参加 16 名（8/27 14 名、9/10 13 名）

事業を支える女性の視点から経営者や後継者への円滑な承継へ後押しする立場としてのポイントを習得していただいた。税理士の若槻とも子氏を招き、事業承継へ向けて中長期的な計画が立てられるよう、自社の現状を見直し、これからの理念・方針を考え、事業承継計画が策定できるよう支援した。

【外部リンク】募集チラシ.pdf

③創業セミナーの開催

・名　称：趣味を仕事に　女性のための起業講座
・日　時：令和３年４月 26 日（月）、５月 10 日（月）、
　　５月 24 日（月）、６月７日（月）
　　各回とも 10:00～12:00
・場　所：福崎町商工会館２階多目的ホール
・対　象：趣味や資格を活かしたい方、家事・子育ての合間の時間を使いたい方、自宅での開業を考えている方、起業して５年未満の方
・講　師：兵庫県よろず支援拠点コーディネーター
　　中小企業診断士　多田 やす子 氏
　　中小企業診断士　社会保険労務士 川本 久美子 氏
　　たべばたけ　代表　藤井 直子 氏（創業事例）
　　日本政策金融公庫姫路支店 融資第二課長　大西 康平 氏
・参加者：13 名

令和３年中にはセミナー参加者の創業は無かったが、セミナー参加者以外で兵庫県が実施する起業家支援事業助成金の申請に向けた支援を６件実施し、２件が採択された。

【外部リンク】募集チラシ表面.pdf　募集チラシ裏面.pdf

その他、小規模事業者持続化補助金、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金申請者等に対し事業計画作成支援を行い、計 83 件の事業計画策定支援を実施した。

【令和３年度の目標及び実績】

項目	年度	２年度 実績	３年度 目標	３年度 実績
事業計画策定セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	22・0	15	9・2
事業承継セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	5・0	5	16・16
創業セミナー開催数	回	1	1	1
受講者数・事業計画策定件数	人	3・3	5	13・13
その他事業計画策定件数	件	65	－	52
事業計画策定件数	件	68	25	83

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	特に、事業計画策定件数においては、目標を大きく上回る実績が認められる。（荒木）
A	事業計画策定セミナーへの受講者数を除き、目標を大きく上回る実績であり、新型コロナ禍においてもしっかり取り組んでいる。 特に、事業計画策定件数は令和２年度の実績を大きく上回っており、課題を抱える小規模事業者の経営改善、今後の目標設定につながったと考えられる。また、事業承継セミナーにおいては新たな視点での終活セミナーを開催し、創業セミナーにおいては創業の幅を広げる内容でセミナーを開催している。いずれも今後につながる内容であり、非常に評価できる取り組みである。（久保）
A	概ね目標を達成しており、評価できる。特に事業計画策定件数が２年度実績や目標を大きく超えていることを評価したい。（佐藤）
A	事業計画策定件数が大幅に増加している。商工会の努力・指導の成果が見えます。（成田）
B	目標を大幅に上回る策定数は高く評価する。経営分析数 65＜事業計画策定数 83 となっているため、差異についての説明記載がほしい（前年度に経営分析済み○○、分析できない創業者○○等）（辰巳）

４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】（7～8P）

【取組んだ内容】

令和３年度に策定した事業計画 83 件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ 186 回訪問。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和３年度の目標及び実績】

項目	年度	２年度 実績	３年度 目標	３年度 実績
フォローアップ対象事業者数	社	68	25	83

職員による訪問延件数	件	87	100	186

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標を大きく上回る実績が認められる。巡回訪問時のヒアリング方法や支援方法については、他の商工会も参考にして頂きたい。（荒木）
A	目標を大きく上回る実績であり、新型コロナ禍においてもしっかり取り組んでいる。 職員の訪問による計画の進捗状況や課題の把握などが積極的に行われており、事業計画を着実に実施するための PDCA がしっかりと回されている。今後もこの取り組みを継続していただきたい。（久保）
A	目標を達成しており、評価できる。（佐藤）
A	目標を達成している（成田）
A	コロナ禍の中、組織一丸となって目標を達成したことは高く評価する。頻度や進捗の確認方法等の記載があればなおよい。（辰巳）

５．需要動向調査に関すること【指針③】(8～9P)

【取組んだ内容】

事業計画策定支援を行った事業所を対象に店頭等での消費者アンケートを 2 件実施し、アンケートの分析及び改善計画の策定等事業所支援を行った。商談会については東京インターナショナル・ギフト・ショーにてアンケート調査に変えてヒアリングシートによる需要動向の調査支援を 2 件行った。

【令和 3 年度の目標及び実績】

項　目	単位	2 年度 実績	3 年度 目標	3 年度 実績
①調査対象事業者数（BtoC）	件	2	2	2
②調査対象事業者数（BtoB）	件	未実施	2	2

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標通りの実績が認められる。（荒木）
A	目標どおりの実績であり、しっかり取り組んでいる。 事業所の店頭等での消費者アンケート、商談会等でのアンケート調査はお客さまなどの生の声を聴くことができるため、事業者にとって非常に有効である。また、アンケート結果を専門家による分析を踏まえてフィードバックすることは今後の事業の改善につながり、非常に評価できる取り組みである。今後も支援対象を拡げ、取り組みを継続していただきたい。（久保）
A	目標を達成しており、評価できる。（佐藤）
B	目標どおり出来ている（成田）
C	コロナ禍での対面実施（？）は難しかったと思うが、記載の情報量が少なく、調査結果をどのように活用したのかが読み取れない。（辰巳）

６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】（10～12P）

【取組んだ内容】

新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会が中止となるケースや開催されても規模が縮小されており、開催・出展が難しい状況であった。そこで展示会に変えて 12 月に共同記者発表事業を開催し、5 事業者が参加した。共同記者発表会ではメディアを通じて情報発信を行い、事業者の売上拡大に繋げた。共同記者発表を実施するには、小規模事業者の情報発信力強化が必要となったため、事前対策としてこれまで数多くの広報支援の実績がある広報ジャーナリスト協会代表 福満ヒロユキ氏を招聘し、11 月にプレスリリースセミナーを開催した。

10 月開催の東京インターナショナル・ギフト・ショーへの出展に向け 2 事業者の支援を行った。出展者には出展に向けて計 2 回の個別相談を実施し、また商談会当日は会場に職員が同行し、商談の支援を行った。

【外部リンク】商工会報やまもも 58 号.pdf

【外部リンク】発表内容 – 商工会ホームページ

【令和 3 年度の目標及び実績】

項目	単位	2 年度 実績	3 年度 目標	3 年度 実績
① 展示会・即売会の出展者数	者	0	2	5
② 支援後の月間売上増加額／者	万円	－	10	21
③ 商談会の出展者数	者	0	2	2
④ 成約件数／者	件	－	1	16

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	目標以上の実績が認められる。特に、共同記者発表事業は売上増加にも繋がっており、他の商工会も参考にして頂きたい取組みである。（荒木）
A	目標を大きく上回る実績であり、新型コロナ禍においても工夫してしっかり取り組んでいる。 新型コロナ禍において、展示会への出展が難しい状況にある中、共同記者発表事業を開催するなど新しい手法で小規模事業者の情報発信に取り組んだことは非常に評価できる。また、展示会への個別出展支援や同行支援など、小規模事業者に寄り添った支援も評価できる。（久保）
A	目標を達成しており、評価できる。特にメディアを活用した情報発信の工夫について評価したい。（佐藤）
A	目標を達成できている（成田）
A	コロナ禍で制限された環境の中、できることを工夫して着実に取組み、成約 16 につなげたことは特筆すべき評価に値する。（辰巳）

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組み（11～12P）

１．福崎町、地域の金融機関、工業団地に進出する企業と連携して、「福崎町なっ得商品券」（プレミアム商品券）の継続的な発行

【取組んだ内容】

福崎町内の消費拡大及び地域中小企業者への振興、活性化を図ることを目的として、平成 11 年度から毎年「なっ得商品券（10%プレミアム商品券）」を発行している。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業として 20%のプレミアム付き総額 120,000 千円を発行した。会員向け DM 発送、町内新聞折込で商品券発行周知、商品券加盟店の募集案内等を行い、本事業を充実させた。本事業実績については以下の通り。なお令和 4 年度においては、名称を中小企業支援施策であることを強調するため「中小商業者応援券」と改め、県補助金を活用して 20%のプレミアム付きで総額 84,000 千円を発行予定である。

・使用期間：令和 3 年 7 月 15 日～令和 4 年 1 月 14 日（6 ヶ月間）
・発行総額：120,000 千円（完売）
・加盟店舗数：145 店舗
・換金額：119,609 千円（換金率 99.67%）

【外部リンク】加盟店一覧.pdf

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	充分な実績が認められる上、令和 4 年度は更に改良を加えるとのことであり、高い評価ができる取組みである。（荒木）
A	町内の消費拡大と中小商業者の売上拡大につながっており、地域経済の振興に大きな役割を果たしている。今後も地域が連携して継続的な取り組みを行っていただきたい。（久保）
A	各種の取組みについて評価したい。特に本事業を充実させる周知活動について着目したい。（佐藤）
A	R3 年度は事前申込制に販売方法を変更していただいた。コロナによる会員への売上応援と住民支援ができました。（成田）
A	他の支援機関等と連携して町内の活性化に向けての想いを共有して取組み、事業を完遂したことはおおいに評価したい。（辰巳）

２．福崎町、観光協会等と連携した福崎町特産の「もちむぎ麺」の販路拡大、民俗学の父「柳田國男」を活用した観光産業への支援

【取組んだ内容】

例年、夏まつりや産業祭等のイベントにおいて「もちむぎ商品」の販売、周知等を行い、町民等に PR 等を行ってきたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により夏まつり、産業祭等は中止となった。

しかし、県連助成金「地域経済再生支援事業」を活用して、2 月に「もちむぎショップガイド」を 6,800 部作成し、町内新聞折込、掲載店への冊子の配布を行い「もちむぎ商品」を扱っているお店や「もちむぎ料理」等を食べられるお店 27 店舗を紹介した。掲載店である幸福堂や KANON、むのじじょう等では、新規のお客や問い合わせが増えたと報告があり一定の効果があった。

【外部リンク】福崎もちむぎショップガイド.pdf

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	コロナ禍での代替え手段を考案できる点は、他の商工会にも参考にして頂きたい取組みである。（荒木）
A	新型コロナの影響でイベントが中止になる中、「もちむぎショップガイド」を発行するなど工夫して情報発信に取り組んでおり、一定の効果がみられ、評価できる。今後は、町外への情報発信も検討し、さらなる販路拡大に取り組んでいただきたい。（久保）
A	2 年度同様にイベント等が中止となる中、3 年度は代替的な活動に取り組んだことを評価したい。（佐藤）
A	観光アプリ「ふくなび」と連携したお店紹介を進めましょう（成田）
A	代替案として、県提案公募事業をうまく活用し、地元店舗の誘客に貢献できている。（辰巳）

３．日本遺産「鉱石の道・銀の馬車道」を活用した地域おこし

【取組んだ内容】

銀の馬車道ネットワーク協議会（所管：中播磨県民センター）へ参加を行い関係機関、各市町との各地域や団体での活動等情報交換を行う。

また、中播磨地区商工会連絡協議会としてポストコロナ、アフターコロナに向けて外国人を含む観光客に、銀の馬車道沿線に来ていただくため、山形弁研究家のダニエルカール氏を招へいして「がんばっぺ！日本の地方～地域の情報発信はお国自慢から～」をテーマに「銀の馬車道おもてなしセミナー」を開催した。参加者は中播磨 4 商工会の会員など 88 名（内オンライン 42 名）の参加であった。

【外部リンク】銀の馬車道おもてなしセミナー開催案内 – 商工会ホームページ

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	セミナー参加者も多く、充分な実績が認められる取組みである。（荒木）
A	銀の馬車道ネットワーク協議会、中播磨地区商工会連絡協議会等の地域機関が連携して地元の観光資源を発信していく取り組みは非常に評価できる。また、ポストコロナ、アフターコロナに向けてのセミナーの開催は地域の事業者にとってこれからを考える良い機会になった。今後につながる取り組みであり、非常に評価できる。（久保）
A	オンラインを活用するなど地域おこし活動を継続していることを評価したい。（佐藤）
B	地域資源の保存に努めていきましょう（成田）
B	銀の馬車道は貴重な観光資源であり、起点ではない福崎町に来てもらう仕掛けを関係団体と連携して考えることは評価したい。山形弁研究家という肩書と福崎町の関連性はわからなかった。（辰巳）

４．地域イベント「ふくさき産業祭」の充実

【取組んだ内容】

10 月 30 日に開催予定されていた産業祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
－	（評価不要）

５．JR 福崎駅周辺における商業の活性化

【取組んだ内容】

令和元年 10 月に駅前観光交流センターのオープン、令和 2 年 10 月に福崎駅前にある町有地にウエルシア（ドラックストア）が出店してから駅周辺の賑わいが復活し周辺地域からの買い物客も増えてきている。ウエルシアについては、当初の計画より売上が多いと店長から聞いている。これまで商業施設が少なかった駅前周辺において小規模な飲食店や小売店も出店してきており、買い物が不便であった件については、ある程度、解消されてきている。

また、駅前観光交流センターの管理運営を町から委託を受けた株式会社 PAGE が駅前交流広場で定期的に「まるまるマルシェ」を行っておりイベント活用も盛んになっている。

商工会では「ふくさきルミネール」（イルミネーション）を 10 月～1 月にかけて点灯し福崎駅周辺の賑わいを演出した。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	福崎駅周辺は、徐々に賑わいが戻ってきており、引き続き商工会としても協力して頂きたい。（荒木）
A	駅前商業施設の誘致目標を達成し、駅前交流広場でのイベント開催など、駅周辺の賑わいが戻ってきている。商工会の「ふくさきルミネール」点灯などの取り組みもあり、駅前の活性化は成果をあげている。（久保）
A	賑わい演出を通じた商業の活性化活動の実績について評価したい。（佐藤）
B	引き続き駅前周辺の賑わいづくりに取り組みましょう（成田）
C	イルミネーションの効果と必要性がわかりにくい。（辰巳）

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み（12～13P）

１．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

（事業内容）

① 広域支援機関との連携

【取組んだ内容】

兵庫県商工会連合会において、事務局連絡会が 4 回開催され出席。県連から新事業や施策の説明、他の商工会の状況等情報交換を行なった。

中播磨地区商工会において、中播磨県民センターと商工会との懇談会を開催し、センター長等へコロナウイルス感染症による管内事業者への支援策に対する意見や令和 3 年度予算に対する要望等を行った。

また､4 商工会で｢従業員の職場改善のためのワークライフバランス支援事業｣として労働環境対策事業に取組み、経営者向け、総務課担当者向け、入社 3 年未満の従業員向けと 3 回のセミナーを開催し 47 名の参加を得た。コロナ禍であったため 3 回ともオンラインでの開催であったが、満足度調査では 47 名中 35 名の方（74.4%）が満足と回答された。

また、税務署、近畿税理士会姫路支部、中播磨地区商工会の 3 者で税務連絡会を開催し、確定申告指導に係る事務連絡や税理士派遣について協議を行った。

兵庫県商工会連合会　事務局連絡会議	4 回	6/21・9/29・12/3・2/10
中播磨地区商工会連絡協議会　事務局会	4 回	5/7・8/27・12/1・2/2
中播磨県民センターとの懇談会	1 回	12/13
中播磨税務連絡会	1 回	12/2

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	他の支援機関との連携においても、充分な実績が認められる。（荒木）
A	新型コロナ禍においても、広域支援機関との連携は目標どおり進められている。4 商工会でのセミナーも 3 回開催し、参加者の満足度も高く、非常に評価できる。（久保）
A	オンラインを活用するなどし、広域支援機関との連携活動を継続していることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおり達成できている（成田）
A	近隣商工会とともに密な連携体制が構築できている。（辰巳）

②専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携

【取組んだ内容】

兵庫県よろず支援拠点と連携して 4 月 16 日、5 月 10 日、24 日、6 月 7 日の 4 日間に渡り、｢女性のための起業講座（創業セミナー)｣を開催した。参加者は 13 名であったが、経営、財務、人材育成、販路開拓について学び、創業計画書の作成を行った。

また、各種専門家派遣制度を活用して小規模事業者の課題解決や事業計画策定支援、販路開拓や IT 支援を行った。

派遣制度名	件数

兵庫県商工会連合会チーフアドバイザー派遣制度	22
兵庫県商工会連合会課題別経営サポート支援事業	11
兵庫県商工会連合会情報発信支援員（IT アドバイザー）	7
兵庫県商工会連合会制度改正に伴う専門家派遣事業	2
商工会の相談機能強化事業	50
新型コロナウイルス感染症対策経営相談窓口業務	44
労働環境チェック事業	3
事業環境変化対応型支援事業	4
兵庫県よろず支援拠点	4
合計	147

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	よろず支援拠点とは良好な関係を構築されており、連携方法については他の商工会も参考にして頂きたい取組みである。（荒木）
A	兵庫県よろず支援拠点との連携による創業セミナーについては、ニーズに合ったテーマであり、非常に評価できる。また、新型コロナ禍において厳しい状況にある小規模事業者への専門家派遣は、事業継続や経営改善といった支援につながるため、非常に評価できる。（久保）
A	県よろず支援拠点と連携した活動がなされていることを評価したい。（佐藤）
A	引き続き支援をお願いします（成田）
A	職員の専門家を目利きするコーディネート力の向上が派遣実績につながっている。（辰巳）

③地域金融機関との連携

【取組んだ内容】

・福崎町商工会が開催する創業セミナー（4/26・5/10・5/24・6/7 開催）を特定創業支援事業として地域金融機関と連携して開催した。

・なっ得商品券（プレミアム付き商品券）発行時に換金手数料を無償とし、地域商業の活性化に協力していただいた。

・みなと銀行福崎支店のショーウインドウに、昨年度設置した妖怪ベンチマップと観光案内版について令和 3 年度も引き続き設置していただき、福崎駅から辻川公園他妖怪ベンチマップへの観光に繋げた。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	地域の金融機関にとっては、顧客獲得にも繋がる取組みであり、評価でき取組みである。（荒木）
A	地域金融機関との連携は、情報交換だけにとどまらず、創業や事業者支援、地域活性化などで成果をあげている。今後も継続して地域金融機関との連携を推進していただきたい。（久保）
A	地域金融機関との連携実績について評価したい。（佐藤）
B	引き続き、地域の活性化、観光振興をお願いします（成田）

A	特定創業支援事業は各種補助金の申請資格等、事業者に様々な特典をもたらすものであり、引続き連携を密にして実施してほしい。（辰巳）

④株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携

【取組んだ内容】

・6 月 7 日に開催した創業セミナーに公庫職員に講師に来ていただき創業融資について説明をいただいた。

・会員企業からの融資の相談について 4 件公庫の無利子貸付につないだ。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	日本政策金融公庫との連携においても、充分な実績が認められる。（荒木）
A	地域活性化につながる創業セミナーでの講師派遣、新型コロナ禍におけるスピーディーな資金繰り支援など、公庫としっかり連携できており、非常に評価できる。（久保）
A	株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携実績があることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおり出来ている（成田）
A	公庫との連携は商工会にとって不可欠である。引き続き連携強化につとめてほしい。（辰巳）

２．経営指導員等の資質向上等に関すること

①兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着ける為の研修に年 2 回以上参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に繋がる支援能力の習得を図る。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネート力の向上に努める。

【取組んだ内容】

受講日	受講者	講座名	内容
4/7	中川竜矢	事業再構築補助金説明会	・事業再構築補助金の概要について ・申請書の書き方について
5/31	船田和夫	労務研修会	・労働保険の基礎知識等について ・労働保険事務組合に係る手続き等について
6/1	中川竜矢		
6/21	木村真一	第 1 回商工会管理者研修会	・メンタルヘルスとハラスメントについて
6/24	安本直美	昇格時研修会	・管理職のあり方について

6/29	木村真一 大道裕子	JPQR 普及事業オンライン説明会	・JPQR の概要について ・JPQR 普及事業の説明について ・皆様へのご協力依頼内容の説明について
7/29	玉越博充 安本直美 船田和夫 中川竜矢		
6/30	木村真一 玉越博充 安本直美 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	中小企業新事業展開応援事業説明会	・中小企業新事業展開応援事業の概要と申請書の書き方について ・商工会・商工会議所へのお願いについて ・今後のスケジュールについて
7/6	玉越博充	業種転換等に係る国・県補助金の活用に関する説明会	・国・県補助金の内容説明について ・審査の観点について
7/6	安本直美 中川竜矢	共済担当者研修会	・全国商工会会員福祉共済の補償拡充に関する内容について　－制度概要編－ ・全国商工会会員福祉共済の補償拡充に関する内容について　－共済金請求編－ ・全国商工会会員福祉共済の補償拡充に関する内容について　－生命保障編－
7/9	安本直美 中川竜矢	共済担当者研修会	・保険・共済を含む個人情報の取扱いについて　－情報セキュリティ研修－
7/14	大道裕子	経営計画･経営革新研修会	・計画の実行と検証・改善を繰り返す経営支援について
7/16	玉越博充	労働保険推進員研修会	・労働局における加入勧奨業務、特別加入について ・加入促進業務の取扱について
8/5	大道裕子	次期記帳機械化システム「商工会クラウド」研修会	・「商工会クラウド」システム概要について ・システムの実演について ・データ移行までのスケジュールについて ・予定料金について
9/1	安本直美 大道裕子 船田和夫	次期記帳機械化システム「商工会クラウド」実務者研修会	・システム概要について ・操作説明について ・機能紹介について ・事業所登録から運用の流れについて
9/9	玉越博充 中川竜矢		
9/15	玉越博充	第 1 回チー	・経営支援事例発表

		フコーディネーター研修連絡会	・商工会に求められる今後の経営支援における役割について
9/15	安本直美 中川竜矢	容器包装リサイクル業務委託に関する研修会	・容器包装リサイクル制度の概要について ・再商品化委託申込み受付業務について ・普及啓発業務について ・REINS（オンライン）の入力方法と入力時の注意点等について
10/4	木村真一 玉越博充 安本直美 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	商工会の福祉共済勉強会	・福祉共済制度の概要について ・推進にあたっての注意点について ・加入依頼書の書き方について
10/19	中川竜矢	金融研修会	・マル経融資の基礎知識等について ・マル経融資の申請手続きの注意点等について
10/26	船田和夫		
10/21	玉越博充	管理マネジメント研修会	・商工会におけるコンプライアンスについて ・メンタルヘルスとハラスメントについて ・商工会の人事評価制度についてについて ・人事評価制度について
10/22	木村真一	第 9 回経営支援事例発表近畿大会	・経営支援事例発表大会
11/15	木村真一 玉越博充 安本直美 船田和夫 中川竜矢	資質向上研修会	・商工会を取り巻く環境と今後について
11/17	大道裕子	販路開拓･販売促進研修会	・プル戦略とプッシュ戦略を理解する ・ジョブ理論と顧客ニーズを理解する ・差別化とはポジショニングである ・顧客軸と商品軸の考え方を学ぶ
11/30	木村真一 玉越博充 安本直美 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	助成事業･専門家派遣制度活用説明会	・令和 3 年度助成事業の報告時の留意点について ・令和 4 年度助成事業の公募と留意点について ・令和 4 年度助成事業に係る留意点について

12/3	玉越博充 大道裕子	インボイス制度説明会	・インボイス制度の概要・記載方法等について
12/6	安本直美 船田和夫 中川竜矢		
12/8	玉越博充 安本直美 大道裕子	「商工会クラウド」オンライン操作研修会	・伝票入力方法、便利機能、新規事業所データ作成等
12/9	中川竜矢		
12/16	船田和夫		
12/9～ 12/10	木村真一	全職協_令和3年度_経営支援事例発表大会／下期研修会	・経営支援事例発表大会 ・統計と地域創生について ・【講演】テーマ「お客様と共に日本の壁を楽しくしたい ～株式会社やまもくの第二創業～」
12/10	中川竜矢	テレワークオンライン研修会	・テレワークの動向について ・テレワーク導入のポイントについて ・成功事例紹介
12/13	玉越博充 安本直美 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	中小機構共済制度説明会	・前年度実績について ・共済制度の基本機能について ・年金制度を補完する類似商品との比較について ・ターゲット別セールストークについて
12/15	木村真一 玉越博充 安本直美 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	県職協　メンタルヘルス研修会	・『鬼滅の刃』から学ぶレジリエンス
12/16	木村真一 大道裕子	商工会のインボイス対応研修会	・商工会におけるインボイス制度への対応について
12/16	玉越博充	第2回チーフコーディネーター研修連絡会	・プロフェッショナル人材戦略拠点事業について ・経営支援事例発表 ・先進事例発表
3/24	玉越博充	第3回チーフコーディネーター研修連絡会	・経営支援事例発表 ・事例発表についての講評と「伴走支援、OJTの在り方」について

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト

A	経営指導員等の資質向上にも、充分な実績が認められる。（荒木）
A	新型コロナの影響で厳しい状況にある小規模事業者は、経営指導員等の支援に頼るところが大きい。支援能力の向上にかかる研修は計画的に実施されており、資質向上に向けた積極的な取り組みは非常に評価できる。
A	職員が種々の資質向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	職員の知識力の向上に努めている。会員の指導、事業継続に努めてください。（成田）
A	各職員が万遍なく資質向上のための受講に取り組んでいる。職員個々の受講履歴に基づく管理者の方針等の記載があればなおよい。（辰巳）

②職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する研修に年１回参加する。

【取組んだ内容】

経営指導員としての必須研修（基礎Ⅰ・基礎Ⅱ）については優先的に受講させる。

受講日	受講者	講座名	内容
10/11～28 11/8～12 （19 日間）	安本直美	経営診断基礎（商業コース基礎Ⅱ）	・小規模事業者の経営特性や経営実態の捉え方、評価の仕方等基本的な知識とスキルを習得し商業分析の診断・指導能力の向上を図る。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	研修受講による支援ノウハウの向上、及び他の支援機関職員との交流にも繋がると期待できる。（荒木）
A	経営指導員の必須研修については計画どおり実施できている。（久保）
A	中小企業大学校が主催する研修に年１回参加していることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおりできている（成田）
B	受講後、支援に活かせた成果や本人のスキルアップに関する記載があればなおよい。（辰巳）

③創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

創業者等に対して県の起業家助成金の周知及び申請支援を行うため説明会に出席した。

受講日	受講者	講座名	内容
3/30	船田和夫 中川竜矢	令和 4 年度「起業家助成金」説明会 （ひょうご産業活性化センター主催）	・ポイント ・起業家助成金の募集開始時期と併願等 ・事業拡大とみなしうる案件について ・令和４年度起業家助成金における対象経費等の変更点 ・令和４年度起業家助成金における募集要項の見直し

			・令和４年度起業家助成金における申請書（事業計画書）の見直し ・令和４年度起業家助成金における申請支援にかかるお願い

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	起業家助成金は制度の変更点が多く、福崎町は創業案件も多い為、受講された内容を今後は活用して頂きたい。（荒木）
A	創業支援にかかる支援力向上の研修は計画どおり受講されている。 今後、創業支援にかかる支援力のさらなる向上が求められることから、継続して取り組んでいただきたい。（久保）
A	職員が支援力向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおりできている（成田）
A	創業支援は地域の活力維持に欠かせない。管理者の方針のもと、受講者の選定理由の記載があればなおよい。（辰巳）

④小規模事業者に専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

小規模事業者等の多種多様な専門的課題を解決するため、中小企業診断士や社会保険労務士、税理士、弁護士、IT アドバイザー等の専門家派遣に職員が同席し、専門家の支援内容について共有化を図ると伴に、派遣後のフォローを行った。（令和３年度専門家派遣回数 147 件）

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	専門家の相談に同席し、吸収できる点は、今後の支援の場で積極的に活用して頂きたい。
A	専門家派遣制度を有効に活用している。職員が専門家と同行し、高度な支援力を学ぶことは、今後の個社支援に大いに役立つ。派遣後のフォローも事業を先に進めるための PDCA につながる。今後も継続して支援力向上に取り組んでいただきたい。（久保）
A	職員が支援力向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおりできている（成田）
A	専門家の支援を傍で見聞きして職員の資質向上につなげることは重要。引き続き、組織的に取り組んでいただきたい。（辰巳）

⑤ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法など OJT により育成に努める。

【取組んだ内容】

多くの支援実績を有し、幅広い知識を持つチーフコーディネーターが人事異動により令和３年度においては１名転入があり、持続化補助金や新型コロナウイルスによる様々な支援策の申請等において若手職員からの相談を受け、一緒

になって支援を行った。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	令和４年度も人事異動があった為、引き続き職員間で支援ノウハウ共有する等の連携をお願いしたい。（荒木）
A	ベテラン職員による支援経験の少ない職員への OJT は計画的に進められており、着実に職員の支援力向上につながっている。（久保）
A	職員が支援力向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	計画どおりできている（成田）
A	チーフコーディネーターはトップレベルの経営支援スキルとコーディネート力を有する。管理者の方針のもと、男女の区別なく応募を促していただきたい。（辰巳）

⑥商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

10 月 13 日から 15 日の 3 日間、東京ビックサイトで行われた東京インターナショナル・ギフト・ショー、グルメ＆ダイニングスタイルショーに会員事業所が出展し職員が同行した。

●東京インターナショナル・ギフト・ショー

ペット・ペット用品小売業者が出展し船田主事が同行。専門家派遣を通じて、パネルの作成や展示方法、商談手法など出展支援を行った。その結果、34 社と商談、14 社と成立した。

●グルメ＆ダイニングスタイルショー（10/13～10/15）

めん類製造業が出展し大道係長が同行。これまでの経験から支援は不要であったが、職員が同行することで関係機関等へ繋ぐことができた。29 社と商談、2 社と成立した。

12 月 15 日に開催した共同記者発表会に向けて、発表する 5 事業所を支援するため、県連チーフアドバイザー福満ヒロユキ氏に支援手法を教わる。内容は以下のとおり。

受講日	受講者	講座名	内容
11/10	木村真一 玉越博充 大道裕子 船田和夫 中川竜矢	共同記者発表会開催にあたっての進め方講座	・共同記者発表会とは ・事前準備、当日の進行について ・告知方法について ・発表会後のフォローについて

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	商談成立に繋がっており、充分な実績が認められる。（荒木）
A	商談会、展示会への同行、共同記者発表会の開催などにより、職員

	の交渉力や発信力の向上につながっている。今後もこれらの取り組みを継続して、支援力向上につなげていただきたい。（久保）
A	職員が支援力向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	引き続き、業務遂行に努めてください（成田）
A	商談、成約とも通常の期待値よりはるかに高い実績をあげている。(辰巳)

＜情報共有による資質向上＞

①支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

【取組んだ内容】

日々の巡回や窓口対応での記録を経営カルテとして残し、事業所ごと、また指導内容区分等の分類および検索を有効活用し、職員全体で共有することにより、必要な時に誰もが対応、活用できるよう支援体制の整備を行った。また、これらのデータ共有が会員事業所への経営支援の基礎資料として活用でき、組織全体における支援能力の向上を図った。

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	個々の職員の暗黙知を経営カルテで形式知にできる為、職員の異動時においても、スムーズな引継ぎに繋がると期待できる。（荒木）
A	経営カルテの蓄積、共有化は事業者支援にかかる重要な取り組みであり、商工会の支援能力の向上にもつながる。今後は、さらに情報の蓄積、共有化を進め、新型コロナで厳しい状況にある小規模事業者の経営支援に役立てていただきたい。（久保）
A	職員が資質向上に努めていることを評価したい。（佐藤）
B	引き続き、業務遂行に努めてください（成田）
A	できる職員の個人プレイではなくチームで取り組む支援が望ましい。情報共有を通じてチーム支援ができる仕組みの構築を期待。（辰巳）

②支援会議を月１回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

支援会議を月 1 回以上開催し、小規模事業者に対する支援状況について共有を行った。

実施日	議題
4 月 2 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・創業セミナーについて ・事業計画策定個別相談会について ・その他について
4 月 16 日	・補助金申請について ・その他について
5 月 6 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について

	・採用支援セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・経営革新セミナーについて ・その他について
6 月 2 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・採用支援セミナーについて ・BCP・事業継続力強化計画策定支援セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・経営革新セミナーについて ・プレスリリースセミナーについて ・その他について
6 月 30 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・BCP・事業継続力強化計画策定支援セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・経営革新セミナーについて ・プレスリリースセミナーについて ・その他について
8 月 3 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・BCP・事業継続力強化計画策定支援セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・経営革新セミナーについて ・プレスリリースセミナーについて ・その他について
9 月 3 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・BCP・事業継続力強化計画策定支援セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・経営革新セミナーについて ・プレスリリースセミナーについて ・中播磨地区商工会連絡協議会　「銀の馬車道」受入れ体制強化事業について ・需要動向調査について
10 月 4 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・プレスリリースセミナーについて ・中播磨地区商工会連絡協議会　「銀の馬車道」受入れ体制強化事業について ・需要動向調査について
11 月 1 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・プレスリリースセミナーについて ・需要動向調査について
12 月 1 日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・共同記者発表会について ・需要動向調査について ・令和 4 年度県連助成事業の要望について ・その他について

1月4日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・需要動向調査について ・その他について
2月4日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・需要動向調査について ・創業セミナーについて ・備品の確認について ・その他について
3月1日	・補助金申請・事業計画等策定進捗、その他支援予定について ・事業評価委員会 ・創業セミナーについて ・備品の確認について ・その他について

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	支援会議での情報共有が、充分な実績に繋がっている。（荒木）
A	支援会議においては、小規模事業者の支援の進捗状況や専門家の報告内容を全職員で共有し、支援の方向性などを検討している。さまざまな視点で個社支援が実施されており、小規模事業者に寄り添った支援となっている。また、職員の支援ノウハウの向上にもつながっており、非常に評価できる取り組みである。（久保）
A	支援ノウハウと意識の共有化を図ったことを評価したい。（佐藤）
A	コロナ対策支援として、各種申請手続き、支援、事業継続など計画どおりできています。（成田）
A	支援ノウハウと意識の共有化は商工会の向かっていくべきベクトルを合わせる大切な要素であることをよく理解している。

③職員会議を月1回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月1回開催し、事業に対する職員への共有を図った。

実施日	議題
4月20日	・経営発達支援事業評価委員会について ・事務分掌について ・会報やまもも発行について ・記帳機械化担当について ・その他
5月21日	・令和3年度地域経済再生支援事業について ・なっ得商品券について ・採用支援セミナーについて ・「BCP」＆「事業継続力強化計画」策定応援セミナー2021 ・源泉指導について ・健康診断実施事業について

	・その他
6 月 22 日	・ワクチン職域接種について ・なっ得商品券について ・源泉指導について ・健康診断実施事業について ・「BCP」&「事業継続力強化計画」策定応援セミナー2021 について ・中播磨地域商工会振興協議会　労働環境対策事業について ・経営革新セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・その他
7 月 16 日	・健康診断について ・なっ得商品券販売について ・「BCP」&「事業継続力強化計画」策定応援セミナー2021 について ・中播磨地域商工会振興協議会　労働環境対策事業について ・経営革新セミナーについて ・事業承継セミナーについて ・その他
8 月 18 日	・商工会報発行について ・ワクチン職域接種について ・各種セミナーの職員受講について 〇経営分析・事業計画策定セミナー 〇BCP 事業継続力強化セミナー 〇業務改善助成金説明会 〇ビジネスマナーセミナー 〇事業承継セミナー ・その他
9 月 16 日	・商工会報発行について ・ワクチン職域接種について ・ふくさきルミネ―ルについて ・東京インターナショナル・ギフト・ショー、グルメ＆ダイニングスタイルショーについて ・お買物ラリーについて ・その他
10 月 7 日	・消防訓練について ・食品衛生講習会について ・中播磨地区商工会連絡協議会ゴルフ大会について ・その他
11 月 18 日	・年末調整について ・眞鍋政義監督講演会について ・ふくふくまる再開について ・その他
12 月 17 日	・年末調整について ・決算説明会について ・眞鍋政義監督講演会について

	・商工会報 2 月号発行について ・その他
1 月 21 日	・1/24 決算説明会について ・2/16～3/15 決算・申告指導について ・商工会報 2 月号発行について ・その他
2 月 10 日	・確定申告時の対応について
3 月 29 日	・総代改選について ・令和 4 年度事務分掌（案）について ・年度末・年度初について ・労働保険年度更新について ・その他

【評価・コメント】

評価	コ　メ　ン　ト
A	職員会議では、幅広い内容を共有されており、経営発達支援計画の内容に沿った業務遂行に繋がっている。（荒木）
A	職員会議における事業の情報共有については、計画通り実施できている。（久保）
A	支援ノウハウと意識の共有化を図ったことを評価したい。（佐藤）
A	引き続き、持続可能な商工業の振興に努めてください（成田）
A	経験の浅い職員はやったことがない商工会事業はイメージできない。職員会議を通じて、イメージが湧きやすい手助けをすることは本人の不安感を取り除く効果が期待できる。（辰巳）